

## 施設完成を受けての 地域の皆さんの声



静波区長  
内藤利春 さん

### 施設の完成を喜ぶ

地域の念願であった排水施設が完成し、大変うれしく思っています。これまでは、台風や大雨時には、地元のゲートの管理人が危険を伴う中で、開閉操作を行っていましたが、ポンプとゲートが連動し、自動運転となったことでその危険性も解消されました。雨の多くなるシーズンに向けて、施設の整備効果を期待しています。



朝生町内会長  
川嶋繁雄 さん

### 地域の大きな期待

最近の雨により一時的に勝間田川の水位が上昇したが、権九川への逆流はなく施設の効果が確認できました。実際の台風や大雨時でも施設の効果が発揮されると思いますので、地元町内会としても大いに期待しています。



### A 拡大

工場の外壁に商用動力電源設備を整備



浸水被害が多い国道150号南側の水路と農地 (片浜区大磯)

**浸水対策に企業も支援**  
片浜区にある伊藤園産業株式会社片浜工場（廣瀬昭代表取締役社長）は、地域貢献の一環として、大雨時に地域の皆さんが排水活動を円滑にできるように、排水ポンプ用の動力電源設備を整備して片浜区へ引き渡しを行いました。片浜区の国道150号南側では、干満による潮位の影響を受けやすく、大雨などによる浸水被害を毎年のように受けています。これまで、その都度、非常用発電機を設置して、排水ポンプを運転していたため、準備に手間や時間が掛かって

片浜区長  
森田 昇 さん



### 支援に感謝

地元企業である伊藤園産業株式会社さんには、排水ポンプ用の動力電源を提供いただき大変感謝しています。増水時には、この電源を利用し、いち早い排水ができるので、地元の安心感も向上すると思います。

いました。しかし、整備された商用動力電源を使用することで、手間や時間が軽減され、迅速な排水活動ができるよう

になりました。地域の皆さんは、今回の支援を喜ぶとともに、浸水被害の軽減を期待しています。

## 中条川の排水ポンプ施設



準用河川中条川の排水ポンプ施設



1分間に8トンの排水ができるポンプ



## 権九川の樋門とオートゲート



流末部に完成した樋門とオートゲート



準用河川権九川の工事前の様子



# 浸水対策施設が完成

### 逆流を防ぐ

準用河川権九川は、樋門が完成するまで放流先の2級河川勝間田川と直接合流していました。

そのため合流地点では、大雨などにより川の水位が上昇すると、勝間田川から権九川に逆流して川の氾濫が起り、道路の冠水や住宅地の浸水が頻繁に発生しました。

市では、地域からの要望もあり、川の合流地点に約5500万円の予算を投じ、樋門とオートゲートを整備しました。

樋門は堤防の中にコンクリートの水路を通して、そこにゲートを設置し、堤防と一体となることで、水の逆流を防ぐための施設です。

今回の樋門に設置したオートゲートは、両河川の水位に応じて無人で自動開閉し、電気などの動力源がなくても開閉を確実に施工施設です。

### 強力な排水ポンプ

勝間田川河口部で合流する中条川でも、台風や高潮、大雨などにより、繰り返し浸水被害が発生していました。度重なる浸水被害を軽減するために、約2500万円で強力な排水ポンプ施設を整備しました。

排水ポンプ施設は、今回の整備で自動化した既存のゲートに加え、毎分8トンの排水能力があるポンプ2基と非常用発電機、制御盤からなり、両河川の水位に応じて自動制御で排水します。

この排水ポンプ2基は、小学校の25メートルプール（幅11メートル、水深1メートル）の水（275トン）を、約17分で排水できる強力なものです。

市では、過去に繰り返し浸水被害が発生している、準用河川権九川（勝間田区）と準用河川中条川（静波区）の最下流部に、浸水対策施設を整備しました。また、片浜区では、地域のために地元企業から浸水対策の支援を受けました。

問い合わせ 建設課 池田 ☎(53) 2628

地域の皆さんは、浸水被害の改善に大きな期待を寄せています。